

Google Chrome、HTTPS/HTTP の混在禁止について

株式会社グローバルアソシエイツ

Google Chrome チームは 10 月 3 日(米国時間)、「Google Online Security Blog: No More Mixed Messages About HTTPS」において、Chrome では HTTPS/HTTP 混在ページにおける HTTP をデフォルトでブロックの対象としていくと伝えました。挙動の変更は年末から 2020 年第 1 四半期にわたってリリースされる Chrome で順次行われます。

予定されている挙動変更のスケジュールは以下のとおりです。

Ver.	内容
79 (2019 年 12 月～)	HTTPS/HTTP 混在ページにおいて現在ブロックされている JavaScript や iframe などのコンテンツのブロックを解除する設定画面を追加
80	HTTP で提供されているオーディオデータやビデオデータなどは自動的に HTTPS へアップグレードされ、HTTPS で提供されていない場合はブロックされる。ただし、Chrome 79 で導入される設定画面を通じて個別にブロックを解除することが可能
81	HTTP で提供されている画像を自動的に HTTPS へアップグレードし、HTTPS で提供されていない場合はブロックされる

この仕様変更によって、将来的に、<http://> (暗号化されていない文章の通信)で運用されているお客様のホームページは、正常に動作しなくなることが想定されます。

現在、国内のブラウザシェアは、[Google Chrome](#) が約 60%を獲得している状況にあるため、ウェブサイトが、https 化 (常時 SSL 化)されていないお客様は、早期に、ご対応いただくことをお勧めいたします。

なお、常時 SSL を実現するためには、[お客様側とご利用中のレンタルサーバー業者との間での契約が必要](#)になります。料金については、各レンタルサーバーのホームページ等でご確認ください。

お客様のほうで、情報が見つげにくい場合は、「レンタルサーバー名」と「プラン名」をご連絡いただければ、こちらでお調べいたしますのでお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

株式会社グローバルアソシエイツ

担当：木谷(KIYA)

お電話でのお問い合わせ：090-3572-6441

メールでのお問い合わせ：k.kiya@global-associates.co.jp